

# 第43回「議員と語りかい」報告書

総務環境常任委員会 (No.1)

開催日	令和 5年 10月 31日 10時 00分 ~ 11時 30分		
開催場所	高千穂地区公民館		
団体名	高千穂7区自治会	参加人員	19人 (男 12人:女 7人)
出席議員	宮田 竜二、今吉 直樹、松下 太葵、藤田 直仁、松枝 正浩、前島 広紀 有村 隆志、仮屋 国治、宮内 博		
役割分担	班 長 (宮田 竜二) 副班長 (今吉 直樹) 記録係 (松枝 正浩)		
テーマ及び具 体的な内容	議会 (議員) 活動と自治会活動 1. 住民の代弁者としての議会 (議員) 活動とは。 2. 農大跡地の国体後の利活用について。 3. 自治会活動のあるべき姿とは。		

意見 交換 の 主 な 話 題 等	◆は参加者の発言 ◇は議員の発言
	<p>◆9月議会の陳情第5号の、総務環境委員会での審査、採決、本会議での審議、採決し、可否同数で、議長裁決で否決となりました。総務環境常任委員会の採決結果は重く、本会議では委員会の判断を覆しました。条例の条件さえ満たしていれば、住民や議会への説明は不要なのか。執行部に議会のお墨つきを与えたような結果となりました。事業の進め方は、まず住民に説明をすることが必要であると思っています。今後、同様な事態が起こりうることも考えられます。本会議の結果は、住民側の立場とは程遠いと思っています。陳情の内容を熟読すれば、議論の焦点とされた条例の改正は、陳情の主目的ではなく、行政手続の改善が目的であったということは明白であるわけです。通常、委員会で採択されたものは、本会議でも採択されるというのが流れのようでございます。そこで、陳情への反対された方、賛成された議員の見解をお聞きしたい。</p> <p>◇反対議員と賛成議員が見解を述べました。</p> <p>◆議会での発言は、個人として発言していますか。会派での最終決定により、発言をされていますか。議会活動を、どのような形でされていますか。</p> <p>◇共産党、公明党議員は、会派内で話をして決定しています。</p>

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

意見交換での主な話題等

- ◆霧島市都市計画マスタープランを見ると、凄く素晴らしいことが、書いてあります。範囲も決めてあり、森林浴とか、行政と市民で、語り合っって創り上げる。また農大跡地の計画が、我々の知らないところで決まるのではないかと危惧している。決めるのは、議会になります。住民の声は、議決の前でしか言うことができません。私たちの思いも加味した、地域にふさわしい活用方法を考えて議決をしてもらいたい。
- ◆まずは、地域住民の意見を聞いて欲しい。条例にある面積要件5,000㎡以上、金額要件2,000万円以上でなければ、議会にかけると必要ない訳です。こだわらないで欲しい。農大跡地は、霧島市民の財産であります。是非、この点を意識して欲しい。
- ◇地域まちづくり計画では、農大跡地の取り扱いについて、公園広場にして欲しいとの要望でよろしいか。
- ◆地元では、自然を活かした公園広場をつくっていただきたい。
- ◇農大跡地については、広大な公園にする計画がありました。実際断念した経緯があります。以前、この地域は、軍馬の生産地、馬事公苑、競技場だったわけです。地域で、農大跡地の活用を検討していただくことは、賛成したい。
- ◆農大跡地は、霧島市の財産です。行政も議会も市民の意見を聞き、市民の意見が反映された市民や県民が利用できる憩いの場所となる素晴らしい施設にしていきたい。
- ◆この地区の皆さんと一緒に遊べるような公園化にしていただければ、大変ありがたいなと思っております。始良家畜保健衛生所問題で、いろんな議論が交わされました。最終的に地域が分断されてしまった結果となりました。議員の皆さんも、もう少し考えて欲しい。
- ◆自分たちがもっと関心を持って、いろんなことに向けていけないと感じました。誰もやってくれない。今後は、もっと関心を持って、やっていきたいと思っております。議員の皆さんも、身近な住民の声を自らの足で出向いて、聞いて欲しい。情報を得た段階で、市民への情報提供を行って欲しい。
- ◆今回の移転計画では、当初の段階で、自治会及び自治公民館活動の中で、その事実が住民に周知されませんでした。このことが1番の問題であったというふうに思います。自治会活動のあるべき姿は、どうあるべきか。自治会あるいは自治公民館が知り得た情報は、当然、住民に流すのが、当たり前であると思っております。この点について、議員は、どのように思われるか。

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

- ◇一つの機能として、支え合う、隣近所のつながり、親睦だと思えます。災害が起こったり、いろいろな危機がある時に、地域住民同士が支え合っていくことであります。普段は、レクリエーションや、懇親会をしながら、お互いのことを知り合う、また一つの団体として、活動していただきながら、非常時は、助け合う、そういうものが、自治会の姿であると思えます。また情報伝達の仕方は、組織によって様々にある。
- ◇やっぱり助け合いながら生きていくのが、自治会なのです。自治会長さん個人の意見、会長さん個人の意見があります。私は、個人の意見だと思えます。自治会で決議をする。総会で決議をする。そうしたものが、住民の総意として行政が見ていくと思えます。まずは、話し合いです。自治会の加入率は、54.5%です。情報伝達も多くの課題があると思えます。自治会の加入の有無に関わらず、伝えることに努めていますが、限界があることも感じている。
- ◇同じ地区の皆さんに意思統一ができるのか、本当難しいと感じており、私たちの地区での最大の悩みでもあります。高齢化もあります。やはり災害時の助け合い。生活弱者の方もそうであります。ひとつの組織であるとの必要性の認識は大事だと思えます。また情報の伝達については、それぞれの自治会で取決めがなされ、団体に決めたことを全員が、押さえておくべきものであると感じている。

意見交換での主な話題等